



2014年2月開催！

石巻追体験ツアー

～被災地の大学生と aruku～

【趣旨】

震災から間もなく3年を前に、まず被災地に「行く」ことから始まるというのは多くの人が、語り、考えている事だと思います。しかし、時間がたてば、当然、2011年3月11日と今の被災地で様々な「ズレ」が生まれ、それによって多くの人が東北に赴く事を躊躇していると聞きました。私たちは高校3年の時から2年ほど、自分の震災体験を語ってきましたが、やはり多くの人に「あの日何があったのか」を知ってほしいと思い、このツアーの企画は始まりました。

【日程】

2月22日（土）～23日（日） ※22日か23日の片方だけ参加する事も可能です。

【案内役】

今回のツアーの運営と案内を務める被災地出身の大学生2人。ビヨンドトゥモローで出会い、共に、震災の悲しみから前に歩いてきました。



遠藤見倫－石巻専修大学経営学部2年－

宮城県石巻市にて被災。震災で父を亡くし、家も流された。震災を経験した者として、「今」を「過去」にすることなく、生きている瞬間を心に刻み続けられるような活動をしていきたいと考えている。



千葉真英－慶應義塾大学総合政策学部1年－

岩手県大船渡市にて被災。津波によって母親と祖母を亡くし、家も流された。現在は父親と二人の弟が大船渡の賃貸住宅で生活している。将来は地元の復興と、自然災害に備えた街づくりに貢献することが生き残った者の使命であると考えている。

【対象者】

社会人の方々を中心(家族での参加やお子さんを連れての参加も可)に募集していますが、幅広く募集しています！

【参加費】

- ・プランA→両日参加の場合、10,000円
 - ・プランB→22日か23日の片方だけ参加の場合、6,000円
- なお、宿泊費と現地までの交通費は自己負担となりますのでご了承ください。

【プログラム内容】

- ・集合場所：石巻駅
- ・22日（午後からスタート）→高校生が運営する「いしのまきカフェ」での昼食、石巻市立大川小学校の見学など
- ・23日（午前から午後まで）→牡蠣の殻むき体験、石巻市雄勝町で被災追体験ツアー（詳細はおって連絡します！）

【申し込み方法/お支払い/キャンセル規定】

申し込みにつきましては

【名前（フリガナ）・参加プラン（A か B）・ご連絡先（電話とメール）】を記載し、 masahide.chiba18@gmail.com までお送りください。

お支払いについては、参加の申し込みを頂いたあとにメールにてご連絡させていただきます。

キャンセルはツアーの1週間前までとさせていただきます。（なおキャンセルの場合は、お支払いいただいた金額の50%を返金致します）

【お問い合わせ】

メールでのお問い合わせは [【masahide.chiba18@gmail.com】](mailto:masahide.chiba18@gmail.com)

電話でのお問い合わせは [【090-7933-7084】](tel:090-7933-7084) までお願い致します。

【Blog リンク先】

詳細は以下のブログにも記載されています。

<http://ishinomasa.exblog.jp/>

【宿泊について】

宿泊は各自手配とさせていただいておりますが、旅館「華夕美」に宿泊をおすすめしています。オーシャンビューの温泉につかり、海の幸に舌鼓をうち、夜は、共に語り合い、3年前のあの日以来、何を思って過ごしてきたかを共有できる時間としたいと思っています。

宿泊予約は、各自ご手配が基本となりますが、主催者で既に複数の部屋を押さえてありますので、相部屋を希望の方はご連絡ください。

「華夕美」

<http://www.ohshokaido.co.jp/hanayubi/>

～私たちも、応援しています～



3年前、ビヨンドトゥモローに初めて来た時、高校生だった彼らが、3年の時を経て、このようなプロジェクトを立ち上げたことに感慨をおぼえる。ぜひ、多くの方が被災地を訪れ、「あの日」と「今」について感じてほしいと思う。

高島 宏平

オイシックス株式会社 代表取締役社長、TABLE FOR TWO 理事



東日本大震災の日以来、消えることない痛みと共に生きてきた彼らの、被災地の姿を多くの人に伝えたいという願いが、多くの方に届くことを期待します。このツアーが終わった時、参加者の方にとって、（私にとってそうなったように）石巻が心に近い町になってくれたらうれしいです。

坪内 南

一般財団法人教育支援グローバル基金 理事・事務局長